

コシヒカリの適期刈取りについて

コシヒカリの出穂後の気温は平年よりかなり高く推移し、**刈取適期は平年より早い**と見込まれます。

今年は、出穂後10日間が多照高温となり急激な栄養供給によって**胴割米になり易い形質**になっています。このため、**籾の黄化率が80%から90%の間に収穫を終える**ように努めましょう。

1 水管理

- (1) 刈取りの5～7日前まで間断かん水を行い、稲体の活力維持と登熟向上に努めましょう。
フェーンが予想される場合は、予め湛水しましょう。

2 クサネム(雑草)の抜取り

- (1) クサネムなどの雑草種子は、調製で除去しにくく、製品に混入すると農産物検査で格落ちの要因となるので、事前に抜取りましょう。

3 コシヒカリの刈取時期

- (1) 籾の黄化率80%で刈取りましょう。

【刈取適期の目安】

出穂期	刈取適期
7月31日	9月5日頃
8月3日	9月8日頃
8月6日	9月12日頃

- (2) 刈り遅れによる**胴割米**が発生しないよう、籾の黄化率が90%までに刈り終えましょう。

4 乾燥・玄米水分

- (1) 胴割米の発生を防ぐため、乾燥速度は毎時0.6%以内を基本とし、初期の籾水分が高い場合(25%以上)や低い場合(20%未満)は、二段乾燥の実施や送風温度を下げるなど、特に丁寧な乾燥を行いましょう。

- (2) 青米の混入程度により停止水分を設定しましょう。

【乾燥機停止水分の目安】

100粒中の青米粒数	0～5粒	6～10粒	11粒以上
乾燥機停止後の水分変化	乾く(-0.5%)	変わらない	もどる(+0.5%)

- (3) 玄米水分は14.5～15.0%に仕上げましょう。玄米水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに測定し、過乾燥米の発生を防止しましょう。



秋の農作業安全運動展開中 8月20日～10月20日

ワラの詰まりはエンジンを止めて！補助者との合図や確認を心がける！